

# めばえ通信

通巻 337 号  
令和 6年 6月28日  
発行/こども発達センターみなみめばえ

「こどもも大人も“アタッチメント”が育つ場に」

6月、毎日通園では運動会が行われました。みんなで、そして親子でからだを動かしての活動を楽しむことを目的に数年前から『親子運動会』として実施をしています。たくさんの人の中で、また普段とは違う会場での運動会に、こどもたちの中にはドキドキの緊張が高まった子もいたかもしれませんし、みんなに見守られて張り切る気持ちが大きくなった子もいたように思います。こどもの気持ちを支え、一緒に楽しんでもらえる親御さんの存在は大きく、お母さん・お父さんと一緒に取り組んだこどもたちの心には、それぞれのがんばりや嬉しさが積み上げられたのではないかと思います。

5月にNHKの“アタッチメント”を特集する番組が放送されていました。『アタッチメント』とは不安や怖れを感じた時に「特定のだれか」にくっついて安心感を得ようとする欲求や行動のことです。親子運動会で知らない場所・知らない人が多いところで不安になった子もいたかもしれないですが、親御さんや職員にくっついて安心を得ようとしているこどもたちの姿もあったのではないかと思います。私たちは、不安になると誰かにくっついて安心を得て、そこを安心基地にしてまた新たな世界に挑戦していきます。これはこどもだけでなく、若者、そして大人も同様です。番組では、今、若者（大人）の中で生きづらさを感じている人に対してもこのアタッチメントが重要であることが伝えられていました。こどもは文字通り、抱っこされたり肌と肌とをくっつけたりすることで安心感を感じやすいですが、大人は話をしたりそばにいること、たとえ物理的に離れていても、心がつながっている・困った時に話を聞いてくれる誰かがいるということが「アタッチメント」（安心感）になるのだと思います。

親子運動会もそうですが、めばえでは毎月、保育参加日を設けています。私たちはこの保育に参加してもらえる時間をとても大事だと考えています。少しずつ成長しているこどもたちの姿を保護者の皆さんと共有できる場として、そして、不安を感じても保護者さんがすぐそばにいる環境で、こどもが安心を感じそして挑戦する姿に出会える（アタッチメントが育つ）機会にもなるからです。また、保護者の皆さんが他の保護者さんと話をする場を作りやすいのもこの機会になります。子育てをしていくにあたって、同じ子育てをしている立場の保護者さんどうしだから話せる悩み、聞いてみたいこともいろいろあると思います。保護者さんのアタッチメント（安心感）にも役立つ機会になればと思っています。

7月には毎日通園では、父親保育参加日が予定されています。それぞれの保護者さんが、こどもと一緒に活動を楽しみながら、お父さんどうし・保護者さんどうしのつながりがまた少しずつでも広がることを期待しています。また、めばえを卒園された先輩のお父さんを交えて座談会も予定しておりますので、今の悩み、これからのことなどぜひ参考にいただければと思います。



# はじめの一步

6月に入り、園庭の砂場では、少しずつ水を足しながら、どろんこ遊びが始まっています。保護者との日々のやり取りの一つである連絡ノートには、夏に向けての遊びの内容が多く書かれています。その中に『泥あそびを毎回思いっきり楽しめているようでよかったです。去年は、本当に泥あそびしたかな？と思う位キレイな服が返ってきたので、今年は袋を開けてホッとします。(泥と砂が永遠に出てきて笑ってしまいます)』と書かれていました。汚れた衣類を洗うことで、成長を感じてくれているお母さんのお子さんへの愛を感じました。

めばえに通うこどもたちの中には、感覚過敏が強く、ベタベタ、ドロドロの感触や汚れることが苦手で、泥んこの中に身体を入れることに抵抗がある子もいます。少しずつ興味が広がっていけるように、私たち職員は見守りつつ、きっかけ作りをしていきます。周りの友だちの遊んでいる様子を見ていく中で、自分のタイミングで一步を踏み出していきます。苦手だったことに挑戦し、乗り越えた時に見せてくれるこどもの自信に満ちた表情や笑顔を見た時は、私たちも、ヤッタ！とうれしくなる瞬間です。

どんなことでも、はじめての挑戦は勇気のいることですが、そこから得るものも大きいです。

今回は、『家族で旅行に行く』といったはじめての一步を踏み出したご家族の紹介をします。

★“家族で旅行に行きたい”“外食を経験したい”との願いがあったAさん家族。

沖縄旅行やディズニーランド、温泉へと、ご家族で旅行に行く夢を叶えているAさんのお母さんにお話をうかがいました。



## Q 旅行に行きたいと思ったきっかけは何ですか？

我が子が障害をもって生まれてきたことで人生観が変わりました。やりたいと思った時にやれることは先延ばしせず今やる。子育てに心配事は尽きないのでどうせ同じ時間を過ごすのなら悩む時間より楽しい時間を過ごしたい。せっかく生まれてきてくれた命なので我が子との思い出をたくさん作りたい。そんな思いがありました。

## Q 旅行中工夫したことは？

とにかく、他人に頼る事。(自分達だけで何とかしようとせず、ありとあらゆる人・物・サービスを利用する)

## 飛行機で使ったサービス

- ・自分のベビーカーを搭乗口まで使用でき、到着後もゲートまで持ってきてくれる。
- ・機内の座席を選べる(座席を蹴ったり大きな声心配だった為、一番前の足元が広い席にもらった。)
- ・チャイルドシート、身体を固定するクッションも希望数用意してもらえる
- ・機内に乗るタイミングを選べる。最初がいいか、最後がいいか。(人が大勢いることが苦手な為、最初に乗って、最後に降りるようにもらった)
- ・搭乗手続きは、障害者専用カウンターで対応してくれる
- ・静岡空港の有料駐車場は、障害者手帳で半額



## 失敗談

- ・ペットボトルから直接飲むのが難しい・・・ストローやコップがあるといい。
- ・体調を崩した・・・解熱剤を持っていく。主治医に相談。現地でスムーズに治療が受けられるよう診療情報提供書を書いてもらった。(ディズニーランドはホテル内にクリニックが入っている所もある。)

**Q 旅行に行ってみてどうでしたか？**

行く前はあれこれと色々心配事ばかり考えてしまいましたが、エイヤツと行ってしまえば大概の心配事は杞憂に終わる。旅行して思ったことは意外に親切な人は多く、ほとんどの人は親切。「障害があるのでこのようにしてもらえると助かります」と具体的に言えば嫌な顔をする人はまずいない。飛行機の中も空港もディズニーも障害のあるこどもを連れてくる人は大勢いました。機内で通路の反対側の障害児ファミリーは、こどもが嘔吐？失尿？してしまいましたが、CAさんはにこやかに神対応していました。こどもとの旅行はもちろん大変なことも多いが、絶対行ってよかった！と思うので必ずまた行きたくくなります。

初めから欲張らず30%で満足！普段の生活リズム(睡眠時間、服薬時間)は崩さず、スケジュールは詰め込みすぎない。もったいないと思わない(欲張ると逆に疲れてイライラするだけ、また来ればいいやくらいの気持ちでのんびりする)ことが、ポイントだそうです。

★もう一人、卒園児のBさんのお話を紹介します。

Bさんのお子さんは現在小学生の女の子です。一つ上にお姉さんがいます。



**Q 初めての旅行は？**

1歳8か月の時。こどもに障害があることは医師から伝えられていたものの、まだ理解できていませんでした。テーマパークを抱っこで歩いていると、夏の暑さもあり、顔色が悪くなり意識が朦朧とし反応がなくなってきた為、慌てて身体を冷やし、なんとか意識が戻りましたが、怖くなり旅行は中断し帰ってきました。そこからしばらく旅行に行けなくなりました。

**Q また旅行に行ってみようと思ったきっかけは？**

小学生になり、宿題の絵日記がきっかけ。「○○ちゃんは、夏休みにキャンプに行ったんだって。私も行きたい！」と言われたこと。前年に姉にも同じ事を言われたが、その時は「妹に身体障害があってアウトドアなんて無理に決まっている。友だちと同じようにはできない」と怒ってしまったけど、兄から言われた時は「歩ける今ならできるかも」と思えて。

**Q キャンプでの様子は？**

スタッフの人が、こどもの履いている補装具に気づいて「かっこいい靴履いているね」と声を掛けてくれました。そしたら「左が動かないの。初めてのキャンプだからドキドキしているの」と初対面の人に自分の困っていることを伝えることができたんです。スタッフの人も注意事項をわかりやすい言葉で説明してくれたことが、安心につながったと思います。

**Q キャンプに行ってみてどうですか？**

行ってみると自信がついたのか、今度は「栗が岳(山登り)に登りたい！」と言い始めました。山登りは難しいので、ゴンドラに乗って標高1,700m位のところまで行って散策をしています。「景色良すぎ！町がミニチュアみたいで面白い」と喜んでくれるから、連れて行きがいがありますね。

行きたいけど行けないかもという不安はあり、安全に過ごす為にどんな場所がいい？何を持っていけばいい？などわからないことだらけで悩み、キャンプへの一歩は、準備に1年掛かったと話してくれたBさん。身体障害があっても工夫したり、探したりすればなんとかなると学んだそうです。

家族で踏み出した一歩。それは勇気のいる一歩だったかもしれませんが、ご家族、お子さんにとって、自信へつながる大きな道として続いていると思います。周りを頼っていい、自分たちのペースで楽しもう、そんな前向きな気持ちが素敵だなと感じます。このエピソードが、保護者の方の勇気のバトンになることを願い、今回2家族にご協力いただき、紹介させていただきました。

こども発達センターひがしめばえ 中山明子

## 食中毒は、どうしたら防げるの？

食中毒とは、食中毒を引き起こす細菌やウイルスなどに汚染された食べ物を食べることで、腹痛、下痢、嘔吐などの症状が出る健康障害です。



6～10月は温度や湿度が高く、細菌が増えやすいため食中毒が発生しやすくなります。

食中毒は飲食店などの外食で発生しているだけでなく、家庭でも多く発生しています。

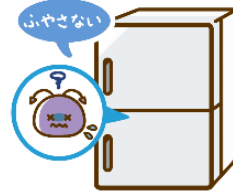
原因食品は、しっかり火が通っていない牛や豚、鶏などの肉や、卵、サラダなどが主なものです。

### 家庭で食中毒を予防する3つのポイント

①きれいな手であつかい、病原体を付けない



②冷蔵庫などに保存して病原体を増やさない



③火を通して病原体をやっつける



料理をするときなどは、これらの点に注意することで、食中毒のリスクをぐっとおさえることができます。

また、熱に強い病原体が原因でスープやカレーなどから食中毒がおきることがあります。

食材や調理した食品をすぐに食べられないときは、冷蔵庫に入れるなどして、細菌が増えるのを防ぎましょう。

### 給食室



### 《7・8月のおもちゃ図書館》

菊川おもちゃ図書館あそぼ

会館場所：プラザけやき

7月13日（土）201会議室

8月はお休み

10：00～11：30 13：30～15：00

連絡先：0537-37-1135

掛川キューピーおもちゃ図書館

会館場所：掛川市総合福祉センター

1階 Myラボ

7月21日（日）/8月18日（日）

10：00～12：00 13：00～15：00

連絡先：0537-22-1309

発行者・お問い合わせ／ こども発達センター みなみめばえ

TEL) 0537-85-1222 FAX) 0537-85-1201 E-MAIL) minamimebae@friend.ocn.ne.jp

ホームページも御覧ください

東遠学園 みなみめばえ

検索



学園ホームページ



# 7月の予定



## おしらせ



7月			バス ○14:30 発
1	月	毎日通園見学会①	○
2	火	毎日通園見学会②	○
3	水		○
4	木		○13:00
5	金	七夕会	○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火		○
10	水	毎日通園見学会③	○
11	木	保育参加日 (施設運営懇談会)	×
12	金	毎日通園見学会④	○
13	土		
14	日		
15	月	海の日	
16	火		○
17	水		○
18	木		○13:00
19	金		○
20	土	父親保育参加日/座談会 (先輩保護者の話)	×
21	日		
22	月	代休	
23	火		○
24	水		○
25	木		○13:00
26	金		○
27	土		
28	日		
29	月		○
30	火		○
31	水		○

### ☆5日 (金) 七夕会

七夕はお子さんの成長を願う節句の一つです。お子さんの願いが込められた短冊を笹に飾りたいと思います。詳細は別紙お便りをご確認ください。

### ☆20日 (土) 父親保育参加日

お父さんと一緒にじっくりと活動を楽しむ中でお子さんの日頃の園の様子を知って頂く機会とします。詳細は別紙お便りをご覧ください。

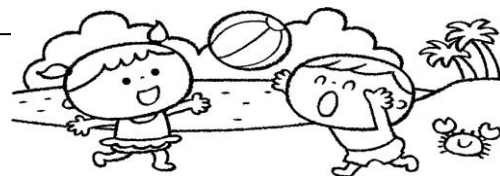
#### 《毎日通園見学会の開催》

次年度の入園を考えている保護者を対象に見学会を開催する為、廊下等からクラスの様子を参観させていただきます。

日程：1日 (月)、2日 (火)

10日 (水) 12日 (金)

いずれも午前中



#### 《8月の予定》

2日 (金) 一日保育

8日 (木) 保育参加日 (なつまつり)

9日 (金) ~16日 (金) 夏休み

19日 (月) 保育はじめ

19日 (月) ~23日 (金)

前期カンファレンス週間 (14:30 降園)

